

あかるいまち21

No.1203 2018年12月21日組合員活動推進課 082-532-1264

	12月累計	2018年度
組合員ふやし	110人	985人
出資金ふやし	594万円	9,065万円
純増	300万円	711万円

ほっておかないで！健診結果の異常を 広島民商で学習会

12/19（水）広島商工会館4階で「健診結果報告書の見方と病院の上手なかかり方」をテーマに講座が行われました。今年度福島生協病院で民商健診を実施された方を対象に講座のご案内し、それぞれの健診結果を持ち寄っての学習会で、参加者は15名でした。講師の福島生協病院健診センターの岡村主任から、健診でも最も多く指摘される血圧や血糖値の異常についてや健診で引っかった時に注意してほしいことなどお話しいただき、そのあとはみなさんからの質問をお受けしながらの対話形式ですすみ、充実した1時間となりました。民商さんの正式名称は「広島民主商工会」といいます。広島県に12のエリアごとに拠点を持ち、中小企業者の営業や暮らし、健康の問題などさまざまな悩みや要求を持ち寄り解決するために組織された団体です。当生協とは健康づくりの取り組みや民商健診の実施など古くからのお付き合いがあります。今後、民商さんの組織を活かした、働く世代の健康づくり・つながりづくりのための新たな組織づくりを進めていきたいと思えます。



安芸支部も参加！映画「ケアニン」上映と介護学習会報告

「ケアニン」とは介護、看護、リハビリ、医療など人の「ケア」に関わり、自らの仕事に誇りと愛情、情熱をもって働いている人のことだそうです。この映画は一人の若者が認知症の高齢女性を介護し最期を看取る中で人間として成長し、同時に認知症であっても人間らしく生き、人間らしく死ぬとはどういうことかを私たちに考えさせてくれる映画です。

この映画の上映は、9月の県母親大会の分科会で視聴された安芸区在住の組合員Mさんの「本当にいい映画だった。この映画をどうしても安芸区でやりたい」という熱意が周囲を動かして実現したといっても過言ではありません。新婦人、年金者組合、医療生協、退婦教、（主催は安芸区母親連絡会）が実行委員会を作り取り組みました。取り組んで間もなく、介護や認知症の問題は私たちに共通した身近で切実な問題であり、映画上映だけでなく是非とも介護の現場で働く人の話も聞きたいという実行委員全員の強い希望もあり、介護の学習会も同時にしようということになりました。講師を元特養くすの木苑相談員の望月みはるさんをお願いしました。

チラシやチケットの作成、宣伝、チケットの販売まで実行委員が協力して行いました。実行委員会を開くたびに一体何人来てくれるだろうかと不安でした。しかし、12月2日の上映当日は10代から90代までの幅広い年齢層の方。遠くは島根県からの参加者や看護学生さんの参加もあり87名の参加で大盛況でした。また、望月みはるさんのお話は資料とご自分の経験に基づいてのお話で大変分かりやすく参考になりました。アンケートには感謝の言葉や様々な意見が沢山書かれていました。皆で力を合わせて何かを成し遂げる事は素晴らしいと思えました。今後も介護等の学習会や行事があれば積極的に参加したいと思えます。